

Ecolution KWH: キネティックエネルギーで食品・医薬品配送の冷凍トレーラーを駆動

【ネイブルズ(米フロリダ州)2020年9月25日PR Newswire＝共同通信JBN】

- * ディーゼル排ガス削減はローマ、サンフランシスコ、パリを合わせたカーボンフットプリントを超える可能性
- * テクノロジーは"廃"エネルギーを再利用、大型トラックの燃料効率向上をもたらす
- * 斬新なeモビリティビジネスは成功した起業家や主要な業界リーダーが後ろ盾

eモビリティ・電力企業のEcolution KWH, LLC (Ecolution)は、食品・医薬品を配送する冷凍トレーラーへの廃キネティック(運動)エネルギー再利用で米国の特許を取得した。テスラと他の企業が開発したように、電気や水素燃料のトラックを合わせれば、Ecolutionトレーラーは数十億ドルのグローバル企業を悩ます炭素排出の全面排除を達成する。



Ecolutionのgreen perfect cycle(グリーン完全サイクル)TM1、MARS(TM)システムは、ディーゼルガス、および、交換可能電池を使って小売店まで商品や医薬品を冷凍する「リーファー(冷凍貨物)」トレーラーに通常使用されるTRU発電ユニットにとって代わる。その結果、冷凍トレーラーの平均重量を1200ポンド削減してトレーラーの運搬能力を増大し、電気トラックのより長い電池寿命を実現する。

主なMARS特許イノベーションは、トレーラーのディスクブレーキに接続する交流電源の使用である。それはリーファートレーラー内で全て、オンデマンドエネルギー用の電池貯蔵ユニットに変換器を通じて送電する。Ecolutionは現在、ドイツ、日本、中国、韓国で特許4件を出願中である。このイノベーションは5年間の研究開発を経た現在、米国、欧州、中南米、アジアで試作段階に入っている。

EcolutionのJohanne Medina Then最高経営責任者(CEO)は「発見の美しさはその単純性にあり、電池ユニットがトレーラーにあるため、テスラなど電気自動車のセカンドライフ電池の再利用が可能で、別の環境問題を除去する役に立つ」と語った。

EcolutionのCraig Bouchard会長は「ほとんどの人はeモビリティが大型トラックの未来と信じている。今や当社はビジネスケース(投資対効果検討書)を提示した。冷凍トレーラー(そして列車)は、われわれ世代の有数の有害な環境問題を生み出している。食品配送のネットゼロカーボン排出は、このグローバル問題で唯一のソリューションである」と語った。

Johnny Then Gautier最高技術責任者(CTO)は「Ecolutionの使用事例は配達地点の冷蔵スペースが不足している食料品店で一層完全である。リーファーは駐車場に数時間か数日駐車していることが多く、待っている間に発電するためディーゼル油を燃やしている。それは深刻な騒音、健康、環境問題を発生させている」と語った。

Ecolutionの役員会には次のように業界大物が何人かいる：

- Richard Giromini氏 - 北米最大のセミトレーラー・液体輸送システムメーカー、Wabash National Corporationの元CEO兼社長
- アーネスト・比嘉氏 - ヒガ・インダストリーズ社長兼CEO、ウエンティーズジャパンCEO
- Jack Greenberg氏 - マクドナルドの元会長兼CEO
- William Farley氏 - 実業家、Fruit of the Loom創業者兼CEO
- Randolph Read氏 - Nevada Strategic Credit InvestmentsのCEOで、慈善家Michael Milken氏の仕事仲間
- Craig Bouchard氏 - Ecolution会長、大手金属企業3社の創業者

Ecolutionの特許はコンピューター、地下鉄、貨物列車事業の発電にも適用される。

ソース: Ecolution KWH

▽問い合わせ先
P.J. Kinsella
973-255-7153
pi@paragonpr.com

Logo - https://mma.prnewswire.com/media/1280470/Ecolution_Logo.jpg